

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～22℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の35%（前年を下回った）。
- イカ釣——月夜間とシケで出漁日数が少なかった。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり639kgの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり44kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり103kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり63kgの水揚げで、前週の38%（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/10～12/14の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、時化で各地入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び佐渡沖～山形沖で僅か操業船あり。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>